

管理者、運用責任者の方は、必ず内容をご熟読ください。



# 車内置き去り防止安全装置

## 取扱・取付説明書

認定番号 **A-003** BS-300S+

認定番号 **A-004** BS-500G+ (緊急通報付)

# はじめに

---

この度はホーネット車内置き去り防止安全装置をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に本書記載の取扱方法や注意事項をよくお読みいただき、安全かつ正しい方法でご使用ください。  
なお、本書には保証書が添付されています。安全管理マニュアルと共に大切に保管してください。

ホーネット置き去り防止安全装置は、ヒューマンエラーによる置き去りを防止する上で補助的な役割をするものです。  
安全確認は、管理者責任のもとで確実に実施し、本安全装置の機能に依存しないように注意してください。

本安全装置はD.C.12V専用です。車両のアクセサリ電源がD.C.24Vの場合は、オプションの24V用DCDCコンバーターBS-24DCを別途お買い求めください。

BS-300S+は、BS-300Sにオプションの未確認検知センサー528Dと断線検知センサー502Fを追加したガイドライン認定製品です。  
BS-500G+ (緊急通報付) は、BS-500G (緊急通報付) にオプションの未確認検知センサー528Dと断線検知センサー502Fを追加したガイドライン認定製品です。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不明な点や記載もれなどお気づきの点がありましたら、加藤電機株式会社までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。
- 本書に掲載されている内容は2023年7月1日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET®、MAMORIA GPS®は加藤電機株式会社の登録商標です。  
KATO-DENKI 等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の登録商標または商標です。

# 目次

<b>お取り扱い上の注意</b> .....	<b>4</b>
安全上の注意 .....	5
使用上の注意 .....	6
<b>製品の特長</b> .....	<b>7</b>
製品の説明(降車時確認式) .....	7
ホーネット車内置き去り防止安全装置とは .....	7
緊急通報機能・通信サービス(対象機種:BS-500G+,通信ユニットMC-8) .....	7
<b>緊急通報機能・通信サービスについて</b> .....	<b>8</b>
緊急通報機能(緊急通報先メールアドレスの登録) .....	8
通信サービス(位置情報検索など) .....	8
<b>同梱物をご確認ください。</b> .....	<b>9</b>
ホーネット車内置き去り防止安全装置の同梱物 .....	9
<b>基本的な操作方法</b> .....	<b>10</b>
ブザー停止用リモコン(赤)の操作方法/セキュリティ用リモコン(黒)の操作方法(管理者用) .....	10
降車時確認式(アナログによるヒューマンエラー防止の操作方法) .....	11
断線検知機能 .....	12
カーセキュリティ機能 .....	13
カーセキュリティの解除方法(車内センサー検知なし)/(車内センサー検知あり) .....	14
パニックモード(強制アラーム)/ハイセキュリティ解除 .....	15
メンテナンス機能(オプション/管理者用) .....	16
操作方法・確認音一覧 .....	17
バレーモード(管理者用)/リモコンの電池交換 .....	18
車内センサーの強制解除(オプション/管理者用)/メモリー機能 .....	19
<b>未確認検知および車内センサーの特長</b> .....	<b>20</b>
未確認検知(標準)/超音波センサー(オプション取付)/ショックセンサー(オプション取付) .....	20
<b>リモコンの特長</b> .....	<b>21</b>
ブザー停止用リモコン(赤) .....	21
<b>リモコン、その他の機能・特長</b> .....	<b>22</b>
セキュリティ用リモコン(黒)/車内ブザー/車外アラーム/緊急通報・位置情報/確認音/警告音/迷惑防止機能 .....	22
<b>取り付けに関して</b> .....	<b>23</b>
取り付け全体イメージ図 BS-500G+/BS-300S+ .....	23
メインユニットの取り付け/メインハーネス .....	24
(+ )12V 電源線の接続/(-) 電源線の接続 .....	25
(+ )12V イグニッション入力線の接続/茶(+ )アラーム出力線の接続 .....	26
車外アラームの取り付け/車内ブザーの取り付け .....	27
通信ユニット(MAMORIA GPS MC-8)/断線検知センサー502F/未確認検知センサー528Dの取り付け .....	28
動作確認LED(青)・プログラムスイッチの取り付け/アンテナの取り付け .....	29
ショックセンサー(オプション)の取り付け/超音波センサー(オプション)の取り付け .....	30
オプション(ライト点滅用/リモコン追加用/ブザー停止スイッチ用/純正キーレス連動用/予備電源) .....	31
<b>FAQ、トラブルシューティング</b> .....	<b>32</b>
<b>製品の仕様について</b> .....	<b>33</b>
製品仕様 .....	33
<b>アフターサービスについて</b> .....	<b>34</b>
アフターサービスについて/セキュリティラウンジあんしんサポートについて .....	34
保証書について/修理を依頼されるときはお問い合わせ先 .....	34
<b>保証規定</b> .....	<b>35</b>

# お取り扱い上の注意

---

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



## 危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



## 警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



## 注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。



## 禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



## ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、製品を扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることで部品の寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。



## 強制

強制・制約・指示等を表す記号

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

# お取り扱い上の注意

## 安全上の注意



### 危険

- 製品仕様以外の電源電圧で使用しないでください。火災、感電の原因になります。



### 警告

- エンジンルーム内に車外アラームを取り付けしたままエンジンを洗淨しないでください。ショートにより、感電や機器が故障する恐れがあります。
- 本製品の取り付けには正しい車両電装知識が必要です。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行ってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障などが発生しても当社では責任を一切負いかねます。
- 本製品を故意に分解・改造は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行った製品の保証は一切しておりません。
- 本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けております。分解および改造変更は絶対にしないでください。不法改造して使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 技術基準適合証明ラベルは絶対に剥がさないでください。電波法により罰せられることがあります。
- 本製品は大音量の車外アラームを使用しています。人やペットが近くにいる時に鳴らさないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。



### 注意

- 本製品は、車内置き去りを完全に防止するものではありません。ヒューマンエラーを防止抑止するものです。万一、車内置き去りが発生しても当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品を故意に分解、加工、改造変更は絶対にしないでください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品の内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
- 本製品は低消費電力設計ですが、車両の使用・整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご利用されない場合などは特に注意してください。
- 本製品の車外アラームは、周囲に異常を知らせるため効果的な大音量で鳴ります。騒音などにならないよう、センサー感度調整を周囲の環境を考慮した上で調整してください。
- 取り付けには、車両電装知識が必要です。最寄りの取付店にお問い合わせください。

# お取り扱い上の注意

## 使用上の注意



### 禁止

- 本製品のメインユニットや付属のハーネスを傷つけたり、破損・加工・無理に引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因になります。
- 濡れた手で本製品、付属品を触らないでください。感電する恐れがありますので注意してください。



### ヒント

- ショックセンサーは、取り付けする位置や車両の剛性などによって感度が大きく変わります。
- 超音波センサーの範囲、向きは、マイク部の設置方法により大きく変わります。



### 必ずお読みください。

- 本製品のみで車内置き去りを完全に防止するものではありません。ヒューマンエラーによる置き去りを防止する上で補助的な役割をするものです。
- 安全管理は、管理者責任のもとで確実に実施し、本安全装置の機能に依存しないように注意してください。
- 万一、車内置き去りが発生しても当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品を故意に分解、加工、改造変更は絶対にしないでください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品の内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
- 本製品は低消費電力設計ですが、車両の使用・整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご利用されない場合などは特に注意してください。
- 本製品の車外アラームは、周囲に異常を知らせるため効果的な大音量で鳴ります。騒音などにならないよう、センサー感度調整を周囲の環境を考慮した上で調整してください。
- 取り付けには、車両電装知識が必要です。最寄りの取付店にお問い合わせください。

# 製品の特長

## 製品の説明(降車時確認式)

### ホーネット車内置き去り防止安全装置とは

ホーネット車内置き去り防止安全装置BS-300S+/BS-500G+は、降車時確認式の機能により車内の目視による確認を促します。セキュリティ用リモコン(黒)でカーセキュリティ機能もご利用いただけます。

### 降車時確認式(アナログによるヒューマンエラー防止)

エンジン停止後に自動的に車内ブザーが鳴りますので、運転手は全ての座席を見回りブザー停止リモコンを押して車内ブザーを停止してください。車内を見回ることを促し車内置き去りを防止できます。

万一、運転手が車内ブザーを止めずに降車した場合は、5分後に車外アラームが鳴り周囲に知らせます。車内ブザーを止めるまで5分ごとに30秒間の車外アラームが鳴り続けます。

### カーセキュリティ機能(オプション)

超音波センサー509Uやショックセンサー504Dを別途装着することで、車内の人の動きや振動を検知することができます。自動検知式ではありませんので、都度セキュリティ用リモコンで作動/解除する必要があります。センサー検知時には車外アラームを鳴らして周囲に異常を知らせます。

※本機能は国土交通省のガイドラインの適合確認を受けた自動検知式の置き去り防止を支援する装置ではなく、ガイドラインに適合した降車時確認式の装置の付加機能です。

### 緊急通報機能・通信サービス(対象機種:BS-500G+、通信ユニットMC-8)

車外アラームに連動して緊急通報メール(最大5カ所)を送信できます。その他、スマートフォンやパソコンなどで運用管理画面から位置情報や温度管理などの様々な管理機能がご利用いただけます。

緊急通報機能・通信サービスのご利用開始は、下記の方法で申し込みください。  
通信の申し込みには、セキュリティラウンジオンラインショップの会員登録が必要です。

## BS-500G+ (通信ユニットMC-8)のご利用開始申し込み

- ① 2次元コードを読み取り申し込みサイトにアクセスします。
  - ② セキュリティラウンジオンラインショップの会員登録をします。
  - ③ 通信ユニットMC-8のご利用開始申込をします。(1年無料)
  - ④ 管理サイトURL、ユーザーID、パスワードが後日メールで届きます。
  - ⑤ 管理サイトにログインしてご利用開始できます。
- ※ 2年目以降のご利用は、セキュリティラウンジオンラインショップにて、通信利用料1年分もしくは3年分をお買い求めください。



申し込みサイト



## 注意

- 通信サービスはKDDI(株)のネットワークを利用しています。電波の届かない場所や不安定な場所ではご利用いただけない場合があります。
- 通信エリア内であっても、車両が地下駐車場などの電波環境によっては通信機能がご利用いただけない場合があります。
- 当社またはKDDI(株)の電気通信設備の保守上または工事中やむを得ない時、戦争天変・地変、その他自然災害など予期せぬ事象により電気通信設備を中止する時は、できる限りご利用者様に通知しますが、通知することなく利用が停止される場合があります。

# 緊急通報機能・通信サービスについて

## 緊急通報機能(緊急通報先メールアドレスの登録)



### ログイン

ユーザーID(半角)

パスワード(半角)

[パスワードを忘れた方はこちら](#)

ログイン

[メンテナンスのお知らせ](#)

管理サイトにユーザーID、パスワードを入力してログインします。



### ヒント

MAMORIA MC-8(通信ユニット)の管理サイトURL、ユーザーIDおよびパスワードはご利用開始時に届いたメールをご確認ください。(詳しくはP7をご参照ください。)

### 緊急通報先の登録

管理サイトのメニューサイトから緊急連絡先設定をタップしてメールアドレスを入力します。最大5個のメールアドレスを登録できます。

### 緊急連絡先の設定

緊急時の連絡先を5件まで設定できます。

- チェックが入っているメールアドレスに送信されます。

必須

※こちらはパスワード再発行に必要なメールアドレスになります。

有効

※イメージ画像

## 通信サービス(位置情報検索など)

### 位置検索機能

管理サイトのメニューサイトから位置情報検索をタップして位置情報ボタンをタップします。

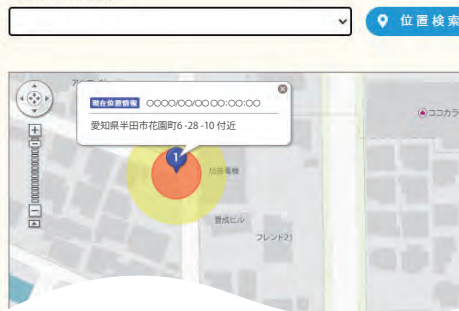
画面に現在の位置情報がマップ表示されます。

その他の詳細は、商品ページをご参照ください。



商品ページ

MAMORIA GPS選択



※イメージ画像

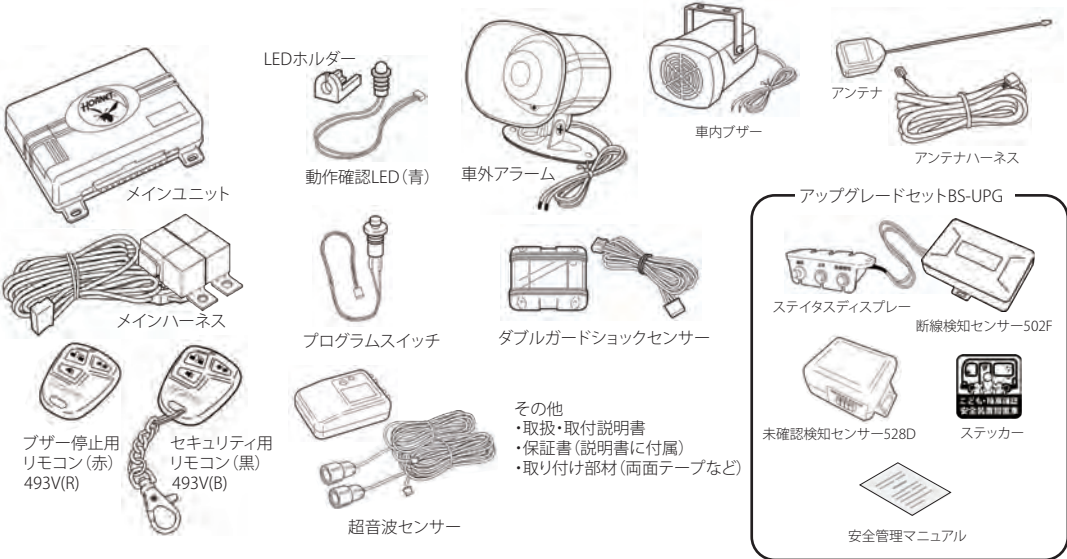


同梱物をご確認ください。

## ホーネット車内置き去り防止安全装置の同梱物

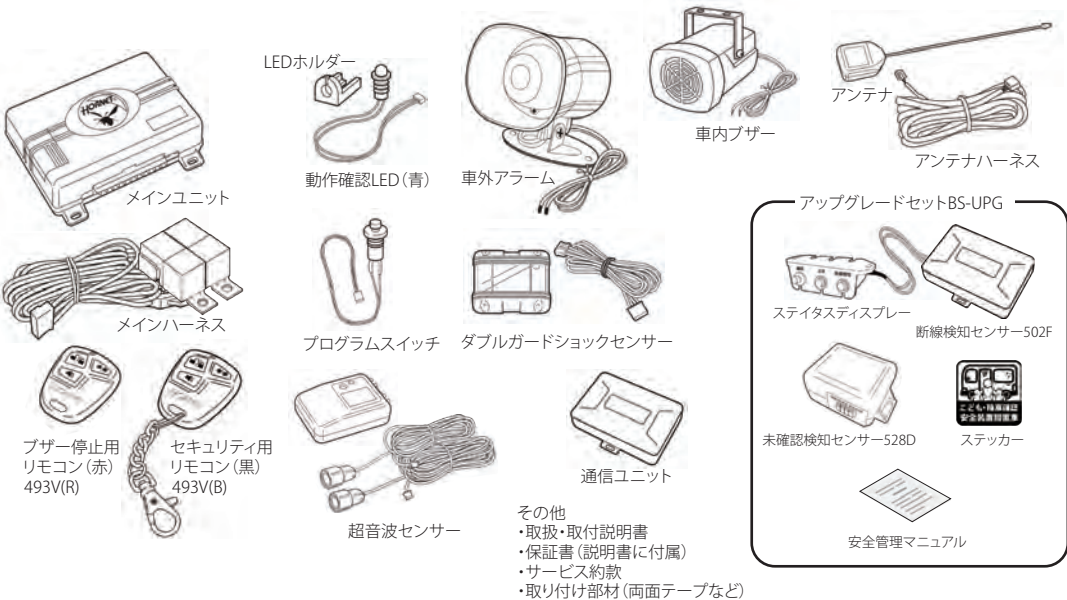
### ホーネット車内置き去り防止安全装置BS-300S+

設置前に必ず下記の同梱物をご確認ください。



### ホーネット車内置き去り防止安全装置(緊急通報付) BS-500G+

設置前に必ず下記の同梱物をご確認ください。



## ブザー停止用リモコン(赤)の操作方法

使用しません

使用しません



ブザー停止用ボタン

電池交換用溝



後部座席奥に設置されているイメージ画像

## セキュリティ用リモコン(黒)の操作方法(管理者用)

センサー作動  
センサー解除

メンテナンス用

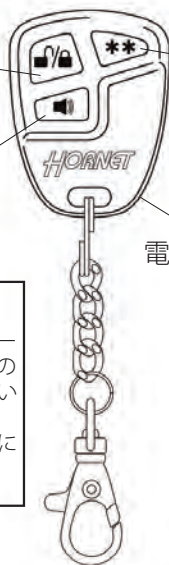
パニックモード

電池交換用溝



**注意**

セキュリティ用リモコン(黒)は、センサーの作動/解除や車内ブザー停止などの操作を行うことができますので取り扱いには、十分注意してください。  
運転者や第三者が使用できないように管理を徹底してください。



操作イメージ画像



**ヒント**

- リモコンボタン部は固着しないタクトイルスイッチを採用し、押し続けられることを防止するために時間の制限を設けています。(動作保証温度：-30℃～+70℃)
- リモコンの電池は機能テストのために使用したものです。消耗品のため、ご購入後に使用できる期間に差があります。電池が消耗している場合には、新しい電池をお買い求めください。  
電池：CR2032 (1個)

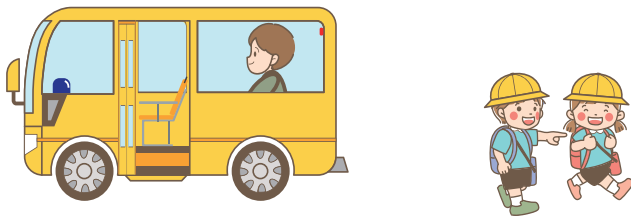
# 基本的な操作方法

## 降車時確認式 (アナログによるヒューマンエラー防止)

- 1** エンジン停止後に車内ブザーが鳴りますので、運転手は全座席を見回りながら車両後部まで移動してブザー停止ボタンを押して車内ブザーを停止します。



- 2** 再度、車内の全座席を見回りを終えてから降車します。



- 3** 万一、5分以内にブザー停止ボタンを押さずに運転手が降車した場合、車外アラームが鳴り続け、車内見回りを促します。必ずブザー停止ボタンを押してから降車してください。



### ヒント

ブザー停止ボタンが押されるまで、5分毎に30秒間の車外アラームが繰り返し鳴り、車内の見回りが完了していないことを周囲に知らせます。必ず車内の見回りを行い、ブザー停止ボタンを押してください。

# 基本的な操作方法

## 断線検知機能

エンジン始動時に安全装置が正常に動作していることを必ず確認してください。赤色LEDが点灯している場合、車内ブザー、車外アラームの断線またはメインユニット（制御装置）の電源喪失が発生している可能性があります。

ステイタスディスプレイがエンジン始動時に確認できることを確認してください。

ステイタスディスプレイ



※画像はイメージです。



設置エリア

## 確認方法

- 1 エンジンを始動して、ステイタスディスプレイの状態を確認します。

正常時

ステイタスディスプレイ



正常の青色LEDが点灯します。

断線検知時

ステイタスディスプレイ



断線検知の赤色LEDが点灯します。



※画像はイメージです。

- 2 確認できたら、確認ボタンを1回（1秒ほど）押します。

- 3 LEDが消灯します。

- 4 赤色LEDが点灯した場合は、安全装置の配線（車内ブザー・車外アラーム）の断線およびメインユニット（制御装置）の電源喪失を検知し警告しています。直ちに製品をご購入の販売店・取付店にお問い合わせしてください。



※画像はイメージです。




### 警告

- 安全装置が異常（断線検知）のまま、本製品を使用しないでください。誤作動の原因になります。
- 必ずメンテナンス作業を依頼し正常であることを確認してからご利用してください。

## カーセキュリティ機能

万一、車内に置き去りになった人がいても、車内センサーにより人の動きや振動を車内センサーが検知して車外アラームを鳴らし周囲に知らせることができます。

## センサー作動方法

- 1 ドアや窓を閉めて、ドアをロックします。
- 2 セキュリティ用リモコン(黒)の  ボタンを押します。(1秒ほど)
- 3 "ピッ"と音が鳴り、センサーが作動します。(動作確認LED(青)点滅)
- 4 5秒後に車内センサーが動作開始します。
- 5 車内で人の動きを検知した場合、車外アラームを30秒間鳴らします。また、BS-500G+および通信ユニットMC-8を追加している場合は、あらかじめ登録したメールアドレスに緊急通報します。




## ヒント

- 車内センサーは、感度調整できます。詳しくは P31 をご参照ください。
- 緊急通報のメールアドレスの登録方法は、P8 をご参照ください。


## カーセキュリティの解除方法

### 車内センサー検知なし

- 1 セキュリティ用リモコン(黒)の  ボタンを押します。(1秒ほど)
- 2 "ピッピッ"と2回確認音+車内ブザーが1秒ほど鳴り、センサーが解除します。(動作確認LED(青)は消灯します。)



### 車内センサー検知あり



- 1 セキュリティ用リモコン(黒)の  ボタンを押します。(1秒ほど)
- 2 "ピッピッピッピッ"と4回確認音+車内ブザーが1秒ほど鳴り、センサーが解除します。(動作確認LED(青)は4回点滅を繰り返します。)

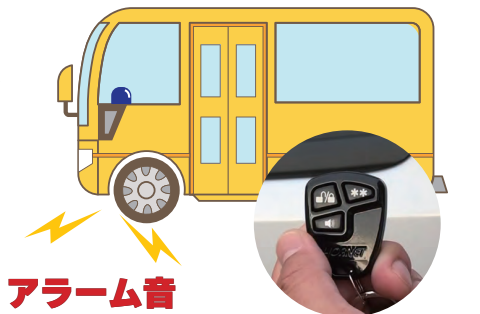


# 基本的な操作方法

## パニックモード(強制アラーム)

セキュリティ用リモコン(黒)のボタン操作で強制的に車外アラームを鳴らすことができます。緊急時に異常を周囲に知らせることができます。


- 1 セキュリティ用リモコン(黒)の  ボタンを長押しします。(1.5秒以上)
- 2 車外アラームが30秒間鳴ります。
- 3 車外アラームが鳴っている最中にセキュリティ用リモコン(黒)の  ボタンを再度押すと、車外アラームが止まります。

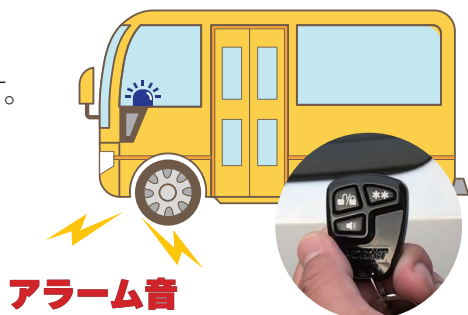


セキュリティ用リモコン(黒)

## ハイセキュリティ解除

車外アラームが鳴っている最中にセンサーを解除せずにアラーム音のみ止めることができます。センサーが解除にならないため、再度作り直す必要がありません。


- 1 センサー作動中に車内センサーが検知すると車外アラームが鳴り始めます。
- 2 車外アラームが鳴っている最中にセキュリティ用リモコン(黒)の  ボタンを押すとセンサー作動中のまま車外アラームが止まります。

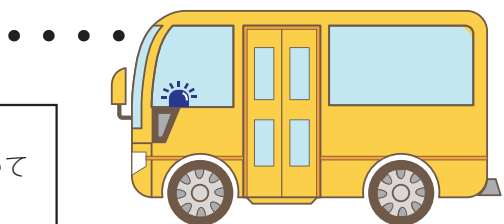


セキュリティ用リモコン(黒)



### ヒント

センサーを解除する場合は、車外アラームが止まってから  ボタンを押してください。詳しくは P14 をご参照ください。

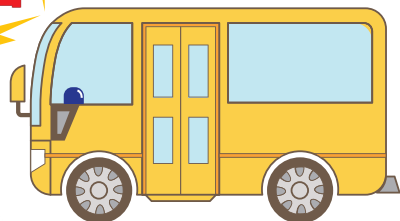




## メンテナンス機能 (オプション/管理者用)

車両のメンテナンス時や給油時に一時的に車内ブザーを停止することができます。

**ブザー音**

- 1 エンジン停止後に車内ブザーが鳴ります。

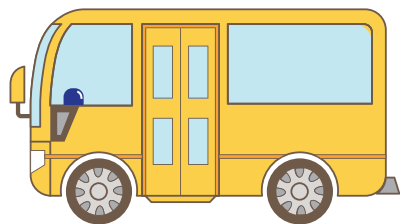


- 2 セキュリティ用リモコン (黒) の  ボタンと  ボタンを同時に押します。(1.5秒ほど)



- 3 車内ブザーが止まります。

...



- 4 メンテナンスや給油が終わり、再度エンジン始動→エンジン停止すると、降車時確認式が作動します。

### 注意

メンテナンスや給油時など車内ブザーを一時的に停止する必要がある時以外は使用しないでください。



# 基本的な操作方法

## 操作方法・確認音一覧

機能	操作	状態
降車時確認式作動	エンジン停止	車内ブザー鳴動 動作確認LED(青) 消灯
降車時確認式解除	リモコン(赤) 	車内ブザー停止 動作確認LED(青) 消灯
センサー作動	リモコン(黒) 	確認音 1 回 動作確認LED(青) 点滅
センサー解除 (車内センサー検知なし)	リモコン(黒) 	確認音 2 回 動作確認LED(青) 消灯
センサー解除 (車内センサー検知あり)	リモコン(黒) 	確認音 4 回 動作確認LED(青) 4 回点滅
ハイセキュリティ解除	リモコン(黒) 	車外アラーム 停止 動作確認LED(青) 点滅
メンテナンス機能	リモコン(黒)  + 	車内ブザー停止 動作確認LED(青) 消灯
警報	車内センサー 人の動きを検知	車外アラーム 30秒間鳴動 動作確認LED(青) 4 回点滅
通報・警報 (BS-500G+) (通信ユニットMC-8)	車内センサー 人の動きを検知	メール通報(最大 5 カ所) 車外アラーム 30秒間鳴動 動作確認LED(青) 4 回点滅
警告	車内センサー 弱い振動検知	確認音10回 動作確認LED(青) 点滅

# 基本的な操作方法

## バレーモード(管理者用)

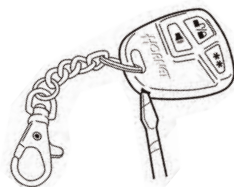
車内センサーを利用しない場合は、バレーモードにします。バレーモード中は、車内センサーが動作しません。

### 【操作手順】

- ①エンジンを始動してから、エンジンを停止(降車時確認式により車内ブザー鳴動)します。
  - ②5秒以内にプログラムスイッチを1回(1秒ほど)押します。
  - ③動作確認LED(青)が点灯し、バレーモードになります。
- ※エンジン停止後に鳴る車内ブザーは、ブザー停止用リモコン(赤)で止めてください。  
※動作確認LED(青)は、エンジン作動中は消灯します。  
※同じ操作を行うと動作確認LED(青)が消灯し、バレーモードから通常モードに戻ります。

## リモコンの電池交換(493V(R)、493V(B)共通)

リモコンの電池が消耗した場合は、電池交換してください。  
対応する電池は「CR2032」型のボタン電池です。



- 1 リモコンケースの溝に精密ドライバー等の先を入れて開けます。



### ヒント

ドライバーの先をテープ等で保護すると傷つきをある程度防止できます。

- 2 古い電池を基板から外します。



### ヒント

交換前に、あらかじめ金属部分などに触れて静電気を除去した乾いた手でお取り扱いください。



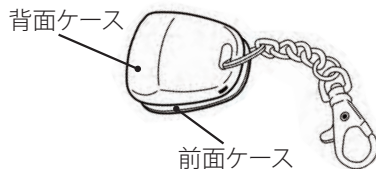
電池を上から下へ滑らせます。

- 3 新しい電池を入れます。



金具の間に電池の(+ )面を手前にして滑り込ませます。

- 4 ケースの四隅を「パチッ」と音が鳴るまではめ込みます。



### ⚠ 注意

- 交換の際は、リモコンケースを傷つけないよう注意してお取り扱いください。
- 交換前に、あらかじめ金属部分などに触れて静電気を除去した乾いた手でお取り扱いください。
- ケース内部へは絶対に水や油、ほこり等が浸入しないように十分注意してください。
- 不要になった電池は、必ず自治体指定の方法で廃棄してください。

# 基本的な操作方法

## 車内センサーの強制解除 (オプション/管理者用)

プログラムスイッチを使ってセンサーを解除することができます。

- 1 イグニッションをONにします。
- 2 5秒以内にプログラムスイッチを1回(0.5秒ほど)押し離します。
- 3 センサーが解除します。



### ヒント

- エンジンを停止してから5秒以上経過した場合は、最初からやり直してください。エンジンを停止すると降車時確認式により車内ブザーが鳴りますので、ブザー停止用リモコン(赤)で車内ブザーを止めてください。
- プログラムスイッチを押す回数を間違えたり、長く押し過ぎた場合は、センサーは解除しません。最初からやり直してください。

## メモリー機能

車外アラームが鳴った履歴が保存されています。センサー解除時の確認音と動作確認LED(青)の点滅変化で確認することができます。

センサーの状況	確認音・動作確認LED(青)
センサー解除時	車内センサー検知なし/車外アラーム0回 確認音 2回「ピッピッ」 動作確認LED(青) 消灯
	車内センサー検知あり/車外アラーム2回以内 確認音 4回「ピッピッピッピッ」 動作確認LED(青) 4回点滅
	車内センサー検知あり/車外アラーム3回以上 確認音 5回「ピッピッピッピッピッ」 動作確認LED(青) 4回点滅



### ヒント

エンジンを始動すると、メモリー機能はリセットされます。

# 未確認検知および車内センサーの特長

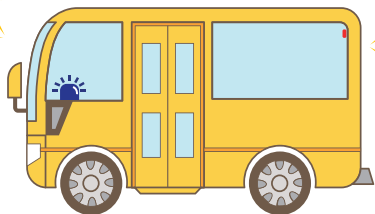
## 未確認検知センサー（標準）

降車時確認式の時に、運転手がブザー停止ボタンを押さずに降車した場合、5分後に車外アラームが30秒間鳴ります。ブザー停止ボタンが押されるまで5分ごとに車外アラームが30秒間鳴り続けます。

ブザー音



単音色  
最大約 100dB



アラーム音



6音色  
最大約 128dB



ブザー停止ボタンがエンジン停止後5分以内に押されていない場合に作動します。

## 超音波センサー（オプション取付）

車内の人の動きを超音波センサーで約4mの範囲で検知することができます。人や物の動きを検知し車外アラームを鳴らします。



超音波センサーは、人体に影響の無い低周波音を利用したセンサーです。お子様にも安心してご利用いただけます。



## ショックセンサー（オプション取付）

強い振動を検知することができます。車内で人が飛び跳ねたり、ガラスを叩くなどの振動を2段階で検知できます。弱い振動には警告音、強い振動には車外アラームを鳴らします。



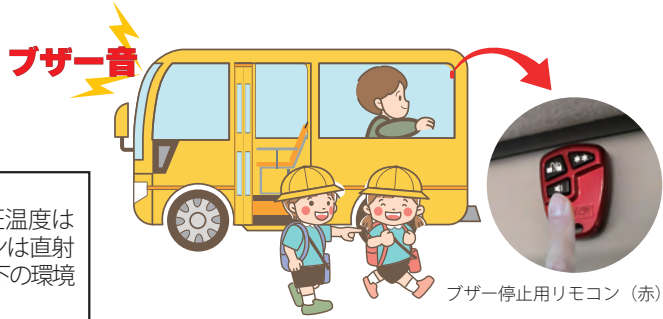
ダブルガードショックセンサー504Dを設置した周辺の振動を検知できます。



# リモコンの特長

## ブザー停止用リモコン(赤)

エンジン停止後に鳴る車内ブザーを止めることができる専用リモコンです。IDコードの組み合わせは7378京6936兆通り以上あり、電波の混信により誤作動することがありません。リモコンの送信飛距離は、最大5mです。



### ⚠ 注意

- リモコン用電池 (CR2450) の動作保証温度は  $-30^{\circ}\text{C}$  ~  $+70^{\circ}\text{C}$  です。ブザー停止リモコンは直射日光が当たらない場所に設置し  $-30^{\circ}\text{C}$  以下の環境では利用しないでください。
- 後部座席の上など、お子さまの手の届かない位置に付属の両面テープでしっかりと固定してください。
- リモコンボタン部は固着しないタクトイルスイッチを採用し、押し続けられることを防止するために時間の制限を設けています。

後部座席の上など、お子さまの手の届かない位置に付属の両面テープでしっかりと固定してください。



### 📖 ヒント

電池消耗時には、市販の「CR2032 (1個)」をお買い求めください。



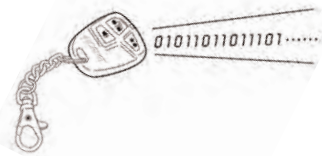
### ⚠ 注意

- リモコン用電池 (CR2032) の動作保証温度は  $-30^{\circ}\text{C}$  ~  $+70^{\circ}\text{C}$  です。ブザー停止用リモコンは直射日光が当たらない場所に設置し  $-30^{\circ}\text{C}$  以下の環境では利用しないでください。
- 後部座席の上など、お子さまの手の届かない位置に付属の両面テープでしっかりと固定してください。

# リモコン、その他の機能・特長

## セキュリティ用リモコン(黒)(管理者用)

車内センサーの作動/解除用のリモコンです。IDコードの組み合わせは7378京6936兆通り以上あり、電波の混信により誤作動することがありません。  
リモコンの送信距離は、最大5mです。



## 車内ブザー(単音色・最大音量約100dB)

エンジンを停止すると車内ブザーが鳴ります。ブザー停止用リモコン(赤)を操作して停止するまで鳴り続けます。

## 車外アラーム(6音色・最大音量約128dB)

センサー作動中に車内センサーが検知すると、最大約128dBの大音量の車外アラームが約30秒間鳴ります。降車時確認式でエンジン停止後、5分以内にブザー停止ボタンを押して車内ブザーを停止しなかった場合、未確認検知センサーが作動して車外アラームを30秒間鳴らします。ブザー停止ボタンを押されるまで5分ごとに30秒の車外アラームが繰り返し鳴ります。

## 緊急通報・位置情報(BS-500G+、通信ユニットMC-8)

BS-500G+は、通信ユニットMC-8によりあらかじめ登録したメールアドレス(最大5ヶ所)に車外アラームと同時にメール送信することができます。専用サイトから車両の位置情報、車内温度等をマップ上で確認できます。



⚠警告:動作保証温度は-30℃~+70℃です。直射日光が当たらない場所に設置し、-30℃以下の環境では利用しないでください。

## 確認音

センサーの作動/解除の時に鳴る確認音です。音の回数で状態を知ることができます。

## 警告音(ショックセンサー検知時)

ショックセンサーが弱い衝撃を検知した時に、警告音を鳴らすことができます。  
"ピピピピピピピピ....."と音が鳴ります。

## 迷惑防止機能(NPC機能)

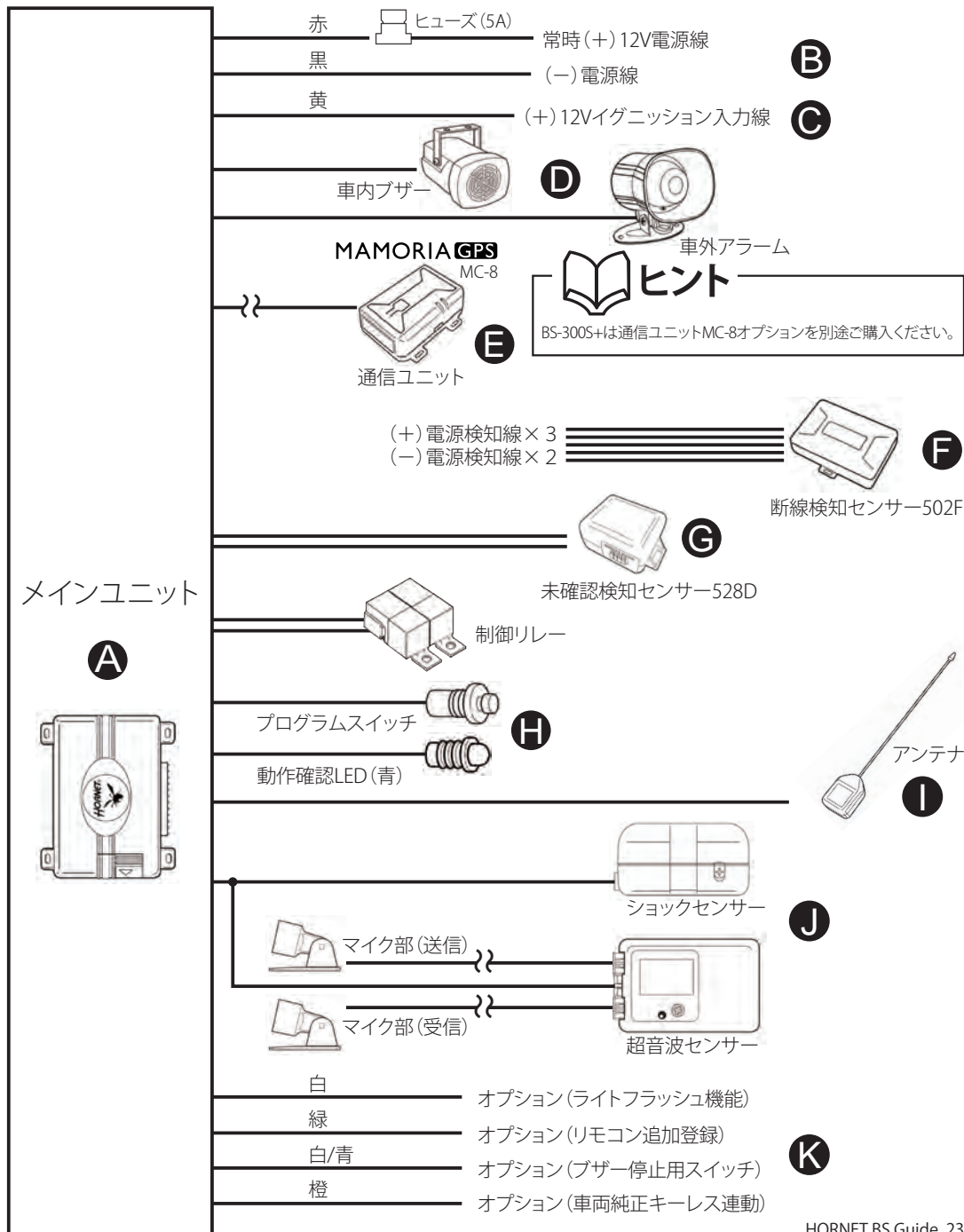
近所迷惑を防止するため、同じセンサーが連続して反応し、車外アラームを鳴らすことを防止します。同じセンサーが60分以内に3回検知して車外アラームを鳴らした場合、3回目の車外アラームが終了してから60分間は、同じセンサーによる車外アラームをキャンセルします。キャンセル中に同じセンサーが検知した場合は、その時点からさらに60分間車外アラームをキャンセルします。センサーを解除しても迷惑防止機能はリセットされません。エンジンを始動することで迷惑防止機能はリセットされます。



迷惑防止機能(NPC機能)が作動している時に、センサー解除を行うと、確認音が5回鳴ります。詳しくはP19をご参照ください。

# 取り付けに関して

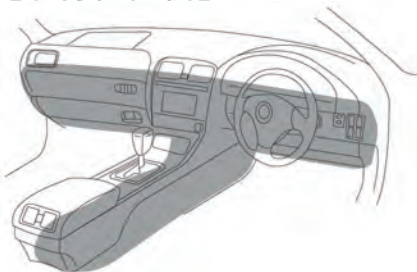
## 取り付け全体イメージ図 BS-500G+/BS-300S+



# 取り付けに関して

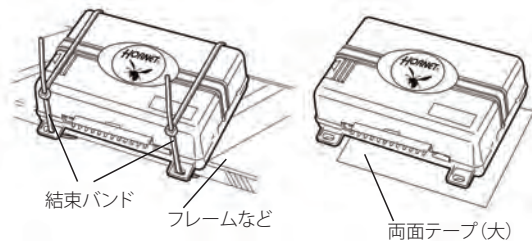
## A メインユニットの取り付け

### 【取付位置例】



このエリアに取り付けします。

メインユニットをしっかりと固定します。



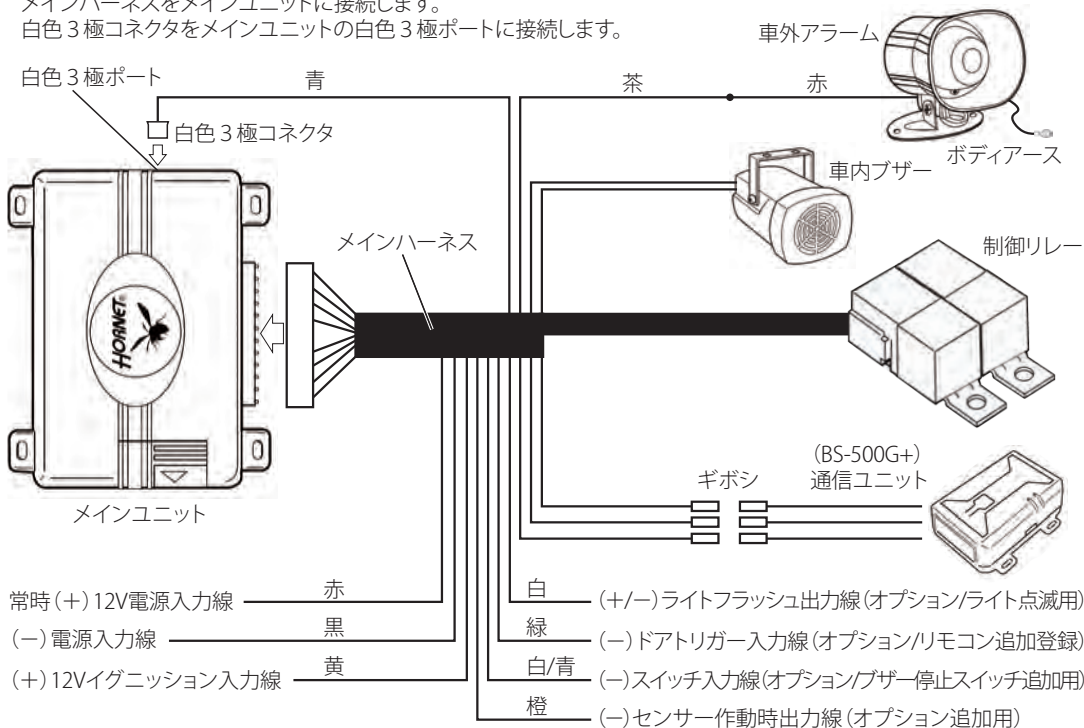
結束バンドと両面テープを併用することを推奨します。

### 禁止

- 本製品の動作保証温度は、 $-40^{\circ}\text{C}$ ～ $+85^{\circ}\text{C}$ です。いたずら防止や安全装置保護、走行の妨げを防止するためエンジンルーム内やフロントガラスおよびリアガラス直下などの直射日光が当たる場所に設置しないでください。
- 運転席の足元（ペダルの裏など）、車両コンピューターやカーナビ、オーディオなどの電装品に近いところ、エアコンのダクトなどへ固定は絶対にしないでください。

## A メインハーネス

メインハーネスをメインユニットに接続します。  
白色3極コネクタをメインユニットの白色3極ポートに接続します。





# 取り付けに関して

## B (+) 12V電源線の接続

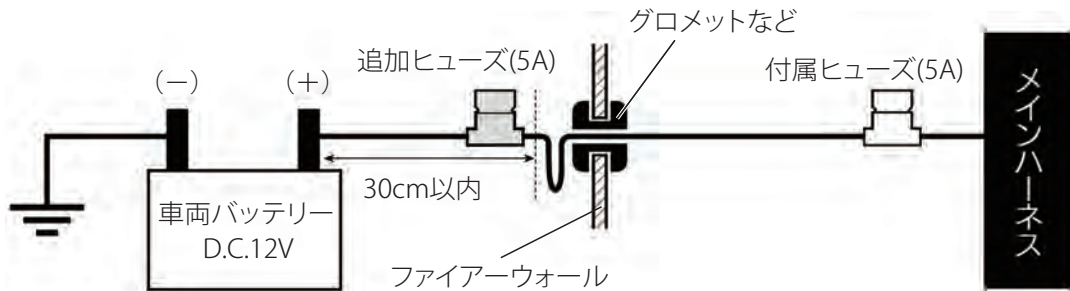
### 赤 (+) 12V電源線

電源接続をする前に、一旦メインハーネス付属のヒューズを抜いてから接続を行なってください。ヒューズは最終的に動作チェックをはじめる時に差し込んでください。

取り外したヒューズは、紛失しないように保管してください。

バッテリーの(+)ターミナル、またはイグニッションハーネス内の常時12V電源線などに接続します。

#### 【接続例】 車両のバッテリーの(+)ターミナルに接続の場合



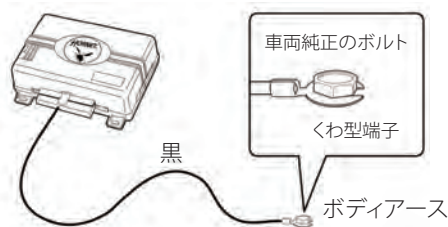
### 注意

- バッテリーから30cm以内に保護用のヒューズ(5A)を追加してください。
- 車両のボディコンピューターなどの設定がリセットする可能性がありますので、車両のバッテリーは外さないでください。
- メインハーネス付属のヒューズは、メインユニット保護用です。この目的以外には使用しないでください。
- 電源をオーディオなどと同様の配線から取得した場合、電源容量が足りなく動作しなかったり、ノイズなどの影響を受けることがあります。
- 車両電源がD.C.24V車の場合は、(+ )12V電源が得られるオプションの24V用DCDCコンバーターBS-24DC(別売)をお買い求めください。

## B (-) 電源線の接続

### 黒 (-) 電源線

メインユニットの黒線を市販のくわ型端子を使用して車体のボディアースにボルト止めします。



### 注意

テスターなどでボディアースであることを確認してから接続してください。

# 取り付けに関して

## C (+) 12Vイグニッション入力線の接続

### 黄 (+) 12Vイグニッション入力線

イグニッションキーを「ON」の位置にした時に(+)12Vを示す線に接続します。



### ヒント

- テスターなどでイグニッションキーをONにした時に(+)12Vを示すことを確認してから接続してください。
- 車両電源がD.C.24V車の場合は、イグニッションキーをONにした時に、(+)12V電源が得られるオプションの24V用DCDCコンバーターBS-24DC (別売)をお買い求めください。



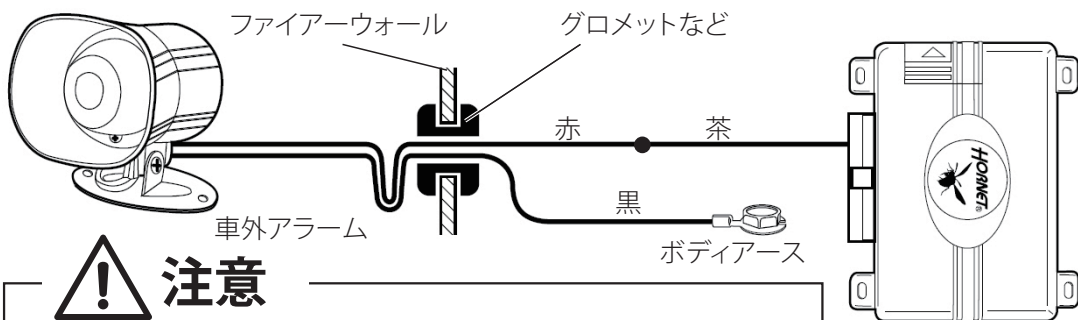
### 注意

- エンジン始動時(セル始動)も(+)12Vを示す線に接続してください。

## D (+) アラーム出力線の接続

### 茶 (+) アラーム出力線

配線を車内に引き込んだ後、車外アラームの赤線をメインユニットの茶線に接続します。  
車外アラームの黒線は、市販のくわ型端子を使用して車体のボディアースにボルト止めします。



### 注意

エンジンルームから車内へ配線を通す際は、車内への水分などの浸入を防ぐため配線を貫通口の手前でたるませてから通してください。

# 取り付けに関して

## D 車外アラームの取り付け

車外アラーム取り付けスペースを確認します。

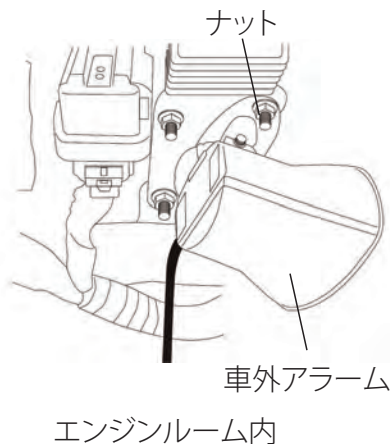
車外アラームは次の条件を満たす場所に設置してください。

- 雨天時、走行時などでも水・油分のかからないところ
- 熱源（エンジン本体、排気系など）から30cm以上離れ、高温にならないところ
- 駆動部の妨げにならないところ
- 車外アラームが妨げられないところ（車内に設置する場合でも音が外に抜けるところ）

### ⚠ 注意

- 車外アラームは、-40℃～+125℃の動作を保証していますが、熱源（エンジン本体、排気系部品など）から30cm以上離れた高温にならないところに設置してください。
- 車外アラームが周辺部品に干渉していないか確認してください。
- 可動部にハーネスが接触していないか確認してください。

### 【車外アラーム取付例】



### 📖 ヒント

- 車外アラームは固定金具部をボルトやナットを使用して確実に固定してください。
- スピーカー面をできる限り下向きに設置してください。上を向いていると水・油分が浸入して故障する可能性があります。

## D 車内ブザーの取り付け

車内ブザー取り付けスペースを確認します。

車内ブザーは次の条件を満たす場所に設置してください。

- ハンドルやペダルなど駆動部の妨げにならないところ
- 車内ブザーの音が妨げられないところ

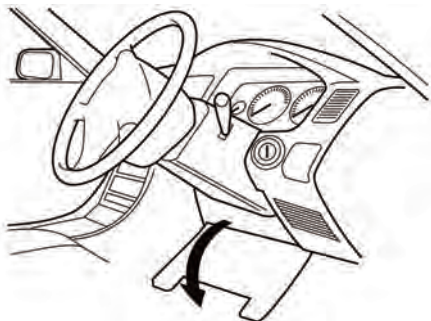
### ⚠ 注意

- 車内ブザーが周辺部品に干渉していないか確認してください。
- 可動部にハーネスが接触していないか確認してください。

### 📖 ヒント

車内ブザーは、固定バンドを使用して確実に固定してください。

### 【車内ブザー取付例】

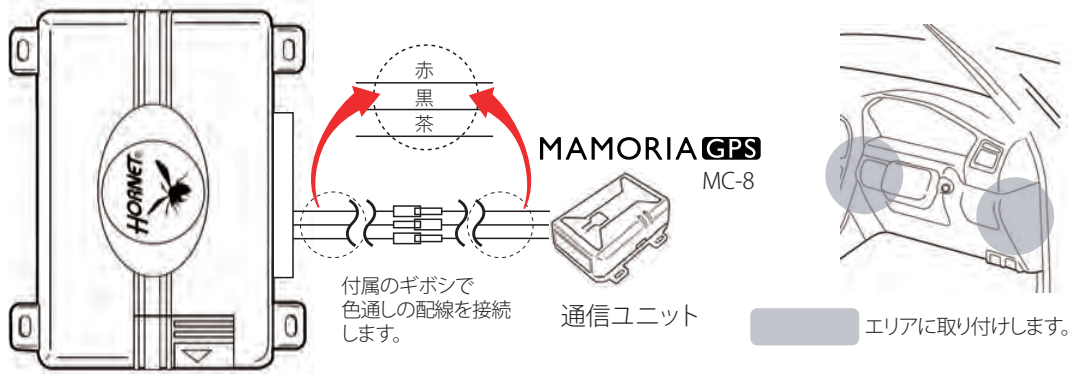


車内アンダーカバー内など

# 取り付けに関して

## E 通信ユニット MC-8の取り付け

通信ユニット (MAMORIA GPS MC-8) を配線接続した後、固定します。



### 禁止

- 動作保証温度は-30℃～+70℃です。直射日光が当たらない場所に設置し、-30℃以下の環境では利用しないでください。
- 通信ユニットは、金属からなるべく離して固定してください。性能低下を招く場合があります。

## F 断線検知センサー502Fの取り付け

ステータスディスプレイ



スイッチ 青色LED 赤色LED

※イメージです。

- |                  |   |
|------------------|---|
| (+) イグニッションON入力線 | 黄 |
| (-) ボディアース       | 黒 |
| (-) センサー出力線      | 青 |



断線検知センサー

### ヒント

詳細は、付属の説明書をご参照ください。

- |   |                    |
|---|--------------------|
| 赤 | (+) メインユニット (制御装置) |
| 赤 | (+) 車内ブザー          |
| 黒 | (+) 車内センサー         |
| 黒 | (-) メインユニット (制御装置) |
| 黒 | (-) 車外アラーム         |

△注意: 電圧変動のある制御線には接続しないでください。

## G 未確認検知センサー528Dの取り付け



- |   |                     |
|---|---------------------|
| 赤 | (+) 常時12V電源線        |
| 黒 | (-) 車内ブザー信号入力線      |
| 橙 | (+) 車外アラーム用12V電源入力線 |
| 灰 | (+) 車外アラーム出力線       |
| 茶 | (+) 車外アラーム入力線       |

### ヒント

詳細は、未確認検知センサー528Dの説明書をご参照ください。

未確認検知センサー528D

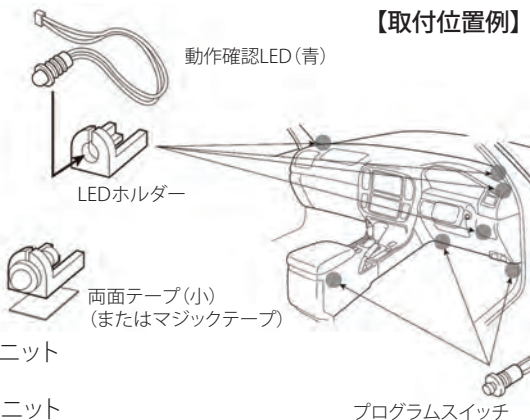
# 取り付けに関して

## H 動作確認LED(青)・プログラムスイッチの取り付け

動作確認LED(青)は、運転席まわりや、車外から確認しやすいダッシュ上部の隅などに設置してください。

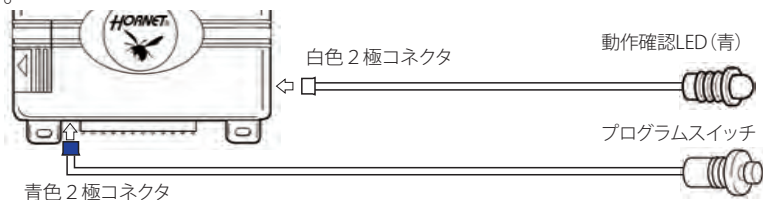
プログラムスイッチは、防犯性を考慮し車内に乗り込んだ際に簡単に目につかない場所に設置してください。

### 【取付位置例】



### 【設置・固定の流れ】

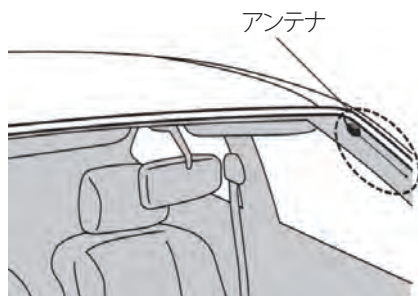
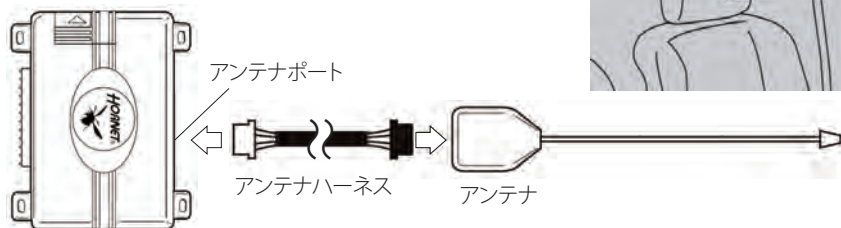
- ①LEDホルダーに動作確認LED(青)をはめこみます。
- ②LEDホルダーを両面テープで固定します。
- ③動作確認LED(青)の白色2極コネクタをメインユニットの白色2極ポートに接続します。
- ④プログラムスイッチの青色2極コネクタをメインユニットの青色ポートに接続します。



## I アンテナの取り付け

フロントガラス周辺(Aピラー)や中央(Bピラー)へ水平あるいは垂直に取り付けます。視界の妨げにならないように確実に固定してください。配線をパネル内に隠す場合には、配線が濡れないように注意してください。

アンテナはアンテナハーネスに接続し、メインユニットのアンテナポートに接続します。



### 📖 ヒント

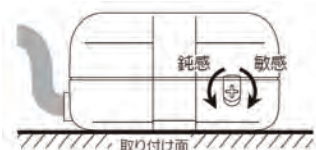
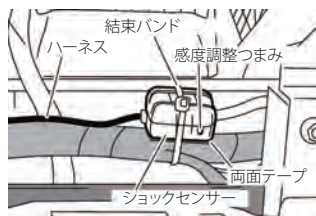
- 金属部へ直接アンテナを貼り付けると感度が鈍くなる場合があります。
- アンテナ線はできるだけ伸ばした状態で取り付けしてください。
- フロントガラスには貼付しないでください。
- 大型車両の場合は、アンテナハーネスを引き回し、なるべく後ろ側上部に設置してください。

# 取り付けに関して

## J ショックセンサー (オプション) の取り付け

車内で動く人の振動を検知することができます。車両のハーネスなどにしっかりと固定してください。

感度調整つまみでセンサーの感度調整を行うことができます。つまみを左に回すと感度が鈍感になり、左いっぱいまで反応しなくなります。つまみを右に回すと感度が敏感になります。

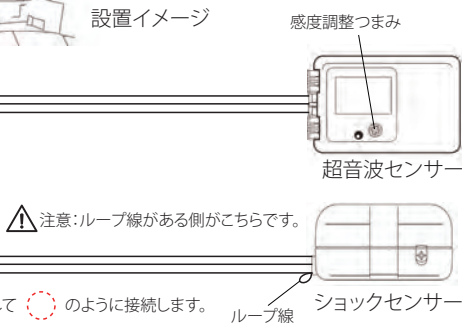
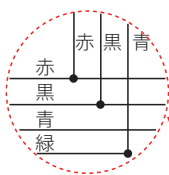
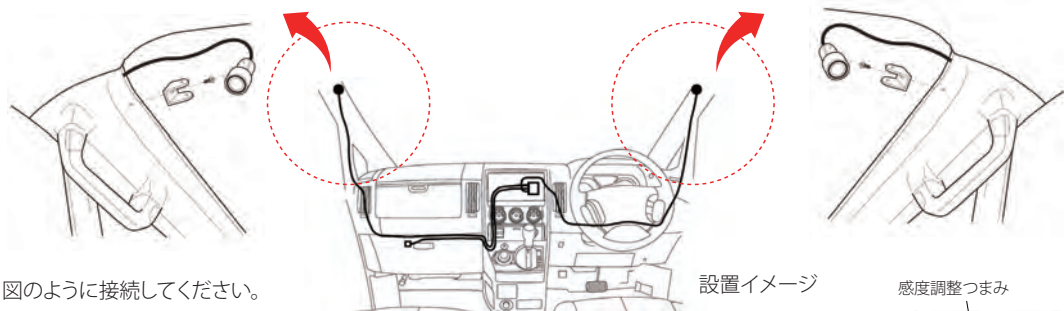


### ⚠ 注意


感度を敏感にしすぎると大型トラックの往来やバイクのバックファイヤーや飛行機の騒音などを車内検知する場合があります。環境に合わせて適度な感度に調整してください。

## J 超音波センサー (オプション) の取り付け

超音波のバリアを張り、人や物の動きを検知することができます。



### 📖 ヒント

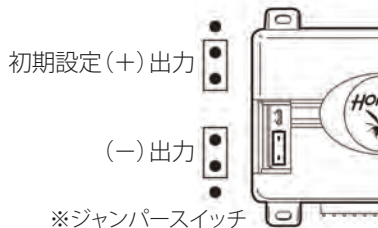
⚠ 注意: 超音波センサーの3極コネクタを切断して  のように接続します。

- マイク部 (TX/送信) のマイクから超音波を発信し反射してきた超音波をマイク部 (RX/受信) で受信します。反射してくる超音波が変化した場合に約4mの範囲で検知します。
- 大型バスなどで、検知範囲を広げるためオプションの超音波センサーを追加で設置する場合は、マイク部をなるべく後部座席側の上部に設置してください。マイク部のケーブルは延長できませんので、超音波センサー専用ハーネスを延長加工してください。

# 取り付けに関して (オプション)

## K (一) ライトフラッシュ出力線 (ライト点滅用)

ライトフラッシュ出力線を接続することで車外アラーム鳴動時に車両ライトを点滅させることができます。灯光で周囲に知らせることができます。車種によっては別途オプションが必要な場合があります。



## K (一) ドアトリガー入力線 (リモコン追加登録用)

ブザー停止用リモコンやセキュリティ専用リモコン(黒)、管理用リモコンを追加登録することができます。リモコンを追加登録する場合は、メインハーネスの緑線を接続してください。

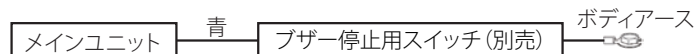


詳しくは、オプション付属の説明書をご参照ください。

※ドアが開いた時にボディアース信号が得られる線に接続します。  
※リモコンの購入にはユーザー登録(あんしんサポート一般会員 P34参照)が必要です。

## K (一) スイッチ入力線 (ブザー停止用スイッチ追加用)

物理的なスイッチ(ボタン)を使って車内ブザーを停止することができます。



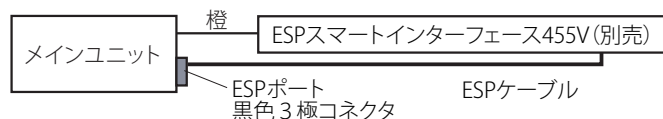
詳しくは、オプション付属の説明書をご参照ください。

※スイッチを押した時のみボディアースに導通するようにしてください。

※スイッチが押し続けられた場合や固着時には、安全装置の入力時間に制限を設けており、次回の車内ブザーが鳴る安心設計です。

## K (一) センサー作動時出力線 (純正キーレス連動用)

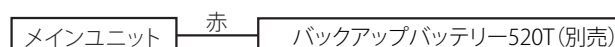
ESPスマートインターフェース455Vを追加することで車両純正キーレスのロック/アンロック操作に連動して自動検知式センサーの作動/解除することができます。



詳しくは、オプション付属の説明書をご参照ください。

## K 予備電源/バックアップバッテリー520T

バックアップバッテリー520Tを追加することで、車両バッテリーからの電源供給が絶たれても、予備電源により安全装置の動作を維持することができます。また、電源喪失の検知ができます。



詳しくは、オプション付属の説明書をご参照ください。

# FAQ、トラブルシューティング

## FAQ

質問	回答
車内センサーを追加できますか？	追加することができます。大型車両の場合、オプションの超音波センサー509U、ダブルガードショックセンサー504Dを追加することで広範囲を検知することができます。
車内ブザー、車外アラームの音量を小さくできますか？	音量を小さくすることはできません。車内に置き去りにになっていることを周囲に知らせるため周波数の異なる6音色で周囲に異常を知らせることができます。
D.C.24Vのバスでも利用できますか？	利用できます。本製品はD.C.12V専用のため、オプションの24V用DCDCコンバーターBS-24DCを別途お買い求めの上、取り付けしてください。
リモコンは何個登録できますか？	全部で4個までリモコンを登録できます。標準2個同梱セキュリティ用リモコン(黒)は、2個追加登録できます。ブザー停止用リモコン(赤)は、故障時交換登録できます。
BS-300S+に後から緊急通報機能を追加することはできますか？	追加できます。セキュリティラウンジオンラインショップにてMAMORIA GPS MC-8および通信1年プランもしくは3年プランをお買い求めください。
リモコンのボタン電池はどれくらいの期間使用できますか？	新品のボタン電池(CR2032)でおよそ1年間ご利用いただけます。リモコン付属の電池は試験用のため必要に応じて新品の電池に交換してください。
車内センサーの超音波センサーは、マイクロバスの後部まで届きますか？	超音波センサーの検知範囲は、およそ4mです。大型バスなどの大きな車両の場合、後部まで届かない場合があります。その場合は、オプションの超音波センサー509Uを追加してください。
ブザー停止用ボタンの操作以外に車内ブザーを止める方法はありますか？	ありません。車内ブザーを止めるには後部にあるブザー停止用リモコンのボタンを押す必要があります。オプションでブザー停止用スイッチを追加することができます。詳しくはP29をご参照ください。

## トラブルシューティング

症状と原因	対策
リモコンの操作ができません	<ul style="list-style-type: none"><li>・リモコンの電池を交換してください。リモコン付属の電池は試験用の電池です。電池残量が少なくなっている可能性があります。</li><li>・アンテナが金属に触れている可能性があります。金属から離して設置してください。なるべく高い位置に設置してください。</li></ul>
超音波センサーが反応しません	<ul style="list-style-type: none"><li>・センサーが作動してから5秒待ってください。作動後5秒間は待機時間となります。5秒以上経過してからセンサーの反応を確認してください。</li><li>・超音波センサーの感度を本体調整つまみを右に回して感度を敏感にしてください。</li><li>・マイク部(送信)、マイク部(受信)の向きを確認してください。大きく下向きであったり上向きの場合、超音波を受信できない可能性があります。マイク部にほこりやゴミが混入している場合は、綺麗に取り除いてください。</li></ul>
ショックセンサーが反応しません	<ul style="list-style-type: none"><li>・センサーが作動してから5秒待ってください。作動後5秒間は待機時間となります。5秒以上経過してからセンサーの反応を確認してください。</li><li>・ショックセンサーの感度調整つまみを右に回して感度を敏感にしてください。</li></ul>



# 製品の仕様について

## 製品仕様

製品名	ホーネット車内置き去り防止安全装置	ホーネット車内置き去り防止安全装置（緊急通報付）
型式	BS-300S+	BS-500G+
主な機能	降車時確認式 未確認検知 断線検知 ステイタスディスプレイ 車内センサー（オプション取付） 車内ブザー 車外アラーム 動作確認 LED（青）	降車時確認式 未確認検知 断線検知 ステイタスディスプレイ 車内センサー（オプション取付） 車内ブザー 車外アラーム 動作確認 LED（青） 緊急通報メール 温度監視 GNSS 位置情報他
電源電圧	D.C.12V	D.C.12V
リモコン電池	CR2032（1個）	CR2032（1個）
平均消費電流（待機時）	約 19mA ※断線検知・動作確認 LED（青） 含む	約 24mA ※断線検知・動作確認 LED（青） 通信ユニット含む
最大消費電流（ブザー）	約 170mA	約 170mA
最大消費電流（アラーム）	約 1A	約 1A
最大ブザー音圧	約 100dB	約 100dB
最大アラーム音圧	約 128dB	約 128dB
使用周囲温度	約-40℃～+85℃	約-40℃～+85℃ （通信部：約-30℃～+70℃）
リモコンサイズ	約 46×36×12mm	約 46×36×12mm
メインユニット外形寸法	約 103×68×34mm	約 103×68×34mm
メインユニット質量	約 110g	約 110g

※メインユニット部：道路運送車両の保安基準 第43条の5 技術基準別添78に準拠

※通信部：



T 017-0312001

R 001-A12347

# アフターサービスについて

## アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、当社保証規定に基づき修理いたします。
- 本製品の保証期間はご購入の日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理いたします。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

## セキュリティラウンジあんしんサポートについて

- 製品を長く安心してご使用いただけるサービスとしてセキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお勧めします。
- ご登録いただけますと製品保証の延長など充実したサポートをお約束します。ぜひセキュリティラウンジあんしんサポートの登録をお願いします。詳しくは下記URLをご参照ください。

<https://shop-security-lounge.com/shopdetail/000000000080/>



## 保証書について

- 製品保証書は本書に添付しております。ご購入の際には大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
- シリアル番号は安全管理上重要なものです。ご購入の際には本体に貼付されているシールに記載のシリアル番号をお確かめください。

## 修理を依頼されるときは

- 故障とお考えの前に、販売店・取付店または当社へご相談ください。
- 修理をご依頼の際は下記の事項をあらかじめ確認し、保証書と署名捺印済みの安全管理マニュアルの写しを必ずご提示ください。

- 1 製品名およびシリアル番号  
(例: HORNET BS-300S+ 0012345678)
- 2 故障の内容  
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ販売店、取付店の記載および署名捺印
- 5 お客様のお名前、住所、連絡先電話番号の記載および署名捺印
- 6 装着した車両の車種、年式、型式、車体番号

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 当社保証規定に基づき、製品の無償保証期間は1年(動作保証期間は3年または5年)です。安心サポートにご加入いただくことで、無償保証期間を2年または5年(有料会員)に延長できます。製品のメンテナンスにより機能の維持ができる場合には無償または有償による修理を行います。有償修理時に発生する代替品の貸与、部品交換費、出張費などは都度お見積りいたしますので、販売店・取付店までお問い合わせください。

## お問い合わせ先

# KATO-DENKI

加藤電機株式会社

〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10

<https://kato-denki.com/support/contact/index.html>



## 《保証規定》

- 1: 本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書、取付説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償にて保証いたします。
- 2: 保証期間内に故障して保証をご依頼になる場合には、お買い上げ販売店または修理窓口へ直接製品をお送りいただく際に発生する送料はお客様のご負担となります。その際には、保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合には保証対象外（有償）となります。
- 3: 製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換等はお客様負担となります。
- 4: ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社窓口までご相談いただくか、お近くのセキュリティラウンジまたはお近くのパイパー取扱店へご相談ください。
- 5: 保証期間内でも次の場合には保証対象外（有償）となります。
  - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
  - 不当な修理、改造による故障および損傷
  - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分、油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
  - 火災、地震、風水害、落雷、ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
  - 自動車事故により発生した故障および損傷
  - 消耗品（電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど）の交換
  - リモコン増設の場合
  - 本保証書のご提示がない場合
  - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明確あるいは文字を書き換えられた場合
  - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
- 6: 保証規定は日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is valid only in Japan.)

この保証書は、本書に明示した、期間、条件のもとにおいて無償保証修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間を過ぎている場合は、修理できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第、修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。ご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。